

- 開発したバイオスティミュラントの最適な施用条件を決めたい（濃度など）
・ストレス対応試験を行いたい（高温条件下など）

SDGs・ESG対応へ植物（農業・環境）で行いたい

御依頼事例



受託栽培比較試験・論文等調査サービス

当社は、栽培環境や管理・測定機器をお持ちでないお客様に代わって、様々な栽培受託試験を承っております。また、植物に関する多様な情報を、専門の知識と経験を備えたスタッフが、お客様に代わって調査を行い、ご要望に応じた調査結果・試験内容をご提案いたします。

わたしたちは、植物に挑戦するすべての方を技術的にサポートし、すべてのチャレンジに光を当てる専門家です



このような方におすすめします

- ・製品のテスト、評価の為に栽培試験を利用したい方
- ・営業用資料作成の為の試験・市場調査を行いたい方
- ・試験の前段階としての学術調査を行いたい方



選ばれる理由

- ・部門間の連携強化：農学、植物学、リモートセンシング学など、それぞれの分野を得意とする当社研究員が連携し、お客様のニーズに応える試験を実施します。
- ・業務の柔軟性：水耕栽培、人工気象器、圃場など、様々な環境下での試験が可能です。
- ・スピード対応：水俣研究所と山口大学内研究所の2か所の拠点を活用し、スピーディーに対応します。
- ・豊富な情報量：生育差の理由など、お客様が第三者へ説明する営業トークなどに利用できる、情報群創出のディスカッションが行えます。

お問い合わせ

※営業資料や社内資料としての画像やデータ作りにもご活用下さい。専門の研究員が、ご相談にお答えします。この他にもそれぞれの状況に対応致しますので、まずはお問い合わせ下さい。



【アグリライト研究所HP】

詳細やお問い合わせは
QRコード
または下記URLまで



【本社・水俣研究所】

〒867-0068 熊本県水俣市浜松町5-98

水俣市企業支援センター一内

【山口大学内研究所】

〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1

山口大学農学部気付

【公式X（旧Twitter）】



@agri_light_lab



アグリライト研究所
Agri-Light Lab. Inc.



info@agri-light-lab.co.jp

<https://www.agri-light-lab.com/>

農業の未来を予測
栽培管理を効率化し
収量と品質を安定させる

栽培予測 サービス

当社では、衛星画像データを活用した栽培予測を行っております。温暖化による気候変動への対応、人手不足などの解決方法の一つとしてご利用下さい。

このような方におすすめします

農業従事者・指導者・管理者様

作業の効率化や防除適宜予測にお役立ていただけます。品質や収量の安定にも貢献します。

農生産物卸業者様

収穫量・収穫時期予測にお役立ていただけます。広範囲の産地の作柄や供給量を把握し、流通戦略に活用できます。

農業資材販売者様

肥料や農薬などの販売量予測にお役立ていただけます。需要や在庫管理に活用できます。

予測実績作物：小麦・水稻・ブロッコリー・
サツマイモ・ジャガイモ・キャベツ・レンコン など



こんなことに悩んだら

＼ わたしたちにおまかせください ／

それぞれの圃場で
生育にムラがあり
収量や品質に
バラつきが出てしまう。

肥料や農薬を
つい多めに使用しがち。
最適な使用量を把握して
経費を削減したい。

近年の異常気象の影響で
作業計画が立てにくく
困っている。

防除適期 (開花日など)の予測

施肥や防除の最適な
タイミングを(開花日
予測と連動)合わせて
誤差3日以内の精度で
お知らせします。

施肥量の予測

当社独自の解析方法
により、最適な施肥
量を各圃場ごとにお
知らせします。

収穫量 (収穫時期)の予測

当社独自の解析方法
により、各圃場ごと
の予測収量をお知らせ
します。

品質や収量の安定

経費削減や 栽培管理の効率化

栽培管理や作業計画

栽培予測サービスの3つの特徴

圃場への設置物がない

センサーヤーソコンなどの設置物を圃場に導入する必要がありません。圃場の景色や環境を変えることなくサービスを利用できます。

高精度の栽培予測

当社の栽培予測サービスは圧倒的な高精度の予測解析が可能です。

*この他にも様々な状況に応じて予測解析を行うことができます。先ずはお気軽にお問い合わせ下さい。

スピーディーな導入が可能

他社サービスでは、高性能予測を可能にするのに圃場へのセンサー設置、データの収集などを経て、実際には2~5年ほどかかると言われています。

当社の栽培予測サービスでは「圃場の住所」と「過去栽培情報」をご提供いただくだけで、ご契約から最短1か月で高精度の予測解析が可能です。

予測までの流れ

① 予測式構築

基本費用1：
栽培管理作法適用単位
(栽培層適用範囲、管理地域単位など)における
過去複数年の管理記録や収穫量などの
データセットを提示いただきます

② 予測情報必要時期の予測

基本費用2：該当作期の気象情報や衛星データ
+ による予測式精度向上
従量費用：圃場数・予測項目・予測回数

小麦成果事例
(山口県)



【アグリライト研究所HP】

詳細やお問い合わせは
QRコード
または下記URLまで



<https://www.agri-light-lab.com/>



【本社・水俣研究所】

〒867-0068 熊本県水俣市浜松町5-98

水俣市企業支援センター内

【山口大学内研究所】

〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1

山口大学農学部気付

【公式X(旧Twitter)】



@agri_light_lab



アグリライト研究所
Agri-Light Lab. Inc.



info@agri-light-lab.co.jp